

1. 件名：福島第一原子力発電所における環境線量低減対策に係る面談
2. 日時：令和4年5月23日（月）16：00～17：10
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者：
原子力規制庁 原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
松田室長補佐、塩唐松係員
東京電力ホールディングス株式会社（テレビ会議システムによる出席）
福島第一廃炉推進カンパニー
プロジェクトマネジメント室 担当3名
5. 要旨：
 - 東京電力ホールディングス株式会社より、福島第一原子力発電所における環境線量低減対策について、資料に基づき主に以下の説明があった。
 - 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果
 - ✓ 追加的放出量を評価した結果、放出管理の目標値を下回っていること。また、敷地境界の空気中放射性物質濃度に関しても告示濃度を下回っていること。
 - タービン建屋東側における地下水及び海水中の放射性物質濃度の状況
 - ✓ 有意な変動は確認されなかったこと。
 - 海水放射線モニタの取水ポンプ故障に関する対応状況
 - ✓ 採水ポンプが吸入した砂詰まりや気泡の吸い込みにより故障していた問題について、ポンプやフィルター機能の改修等により状況が改善し、2022年3月29日から稼働を再開したこと。
 - 多核種除去設備等処理水の取扱いに関する海域モニタリング計画について
 - ✓ 多核種除去設備等処理水の海洋放出を踏まえて強化される総合モニタリング計画を踏まえ、これまで実施してきたモニタリングに加え、採取地点の増加、採取頻度の増加及び検出下限値の低減といったモニタリングの強化・拡充を実施したこと。
 - 原子力規制庁は、上記説明内容について確認した。
6. その他
資料：
 - 環境線量低減対策スケジュール
 - タービン建屋東側における地下水及び海水中の放射性物質濃度の状況について
 - 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果（2022年4月）
 - 別紙 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量評価結果 2022年4月評価分（詳細データ）

- 空气中放射性物質濃度の分析結果（1～4号機）
- 海水放射線モニタの取水ポンプ故障に関する対応状況について（続報）
- 多核種除去設備等処理水の取扱いに関する福島第一原子力発電所海域モニタリング計画について

以上